

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成27年 8月31日 （ 16：50～17：30 ）

3. 日常生活の支援

メンバー 若林、行広、迫川、栗原

◆前回の改善計画に対する取り組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
0	前回の課題について取り組みましたか？					

前回の改善計画

前回の改善計画に対する取り組み結果

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握出来ていますか？			4	5	9
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排泄等の基礎的な介護が出来ていますか？	4	5			9
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化出来ていますか？		7	2		9
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか？	3	6			9
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援出来ていますか？	1	6	2		9

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
 フェースシートに記載されている生活歴については把握している。個々のADL情報を基に残存機能を維持する事を念頭に置き、状態観察しながら状況に応じて声掛け、見守りをしながら生活全般の援助を行っている。個々の職員が知り得た情報（体調面、機能面、言動、精神状態等）については朝、夕の申し送りで情報共有を行っている。新たな情報についても口頭で情報共有し、チームでケアを行う事で利用者の心身の変化に速やかに対応出来る様に努めている。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
 利用者の明確な生活歴についての情報は、フェースシートのみで、関りの中で知り得た情報があっても、その場限りで反映される事が少ない。実際、プライバシーに踏み込めない状況もあるが、独居の場合、馴染みの関係、信頼関係の構築が不十分な事が起因する事がある。業務に追われ個々の利用者とはゆっくり話す時間を築けていない。又、話し易い雰囲気作りに努め、積極的に話しを聞く努力に欠けていた。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)
 アセスメントに生活歴の項目を組み入れ、把握に努めます。新たに知り得た情報や要望を追記し生活全般の援助に活用します。全職員が漏れの無いように閲覧する。職員の意識付けに確認印を押す。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成27年 8月31日 (16:50~17:30)

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 若林、行広、迫川、栗原

◆前回の改善計画に対する取り組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
0	前回の課題について取り組みましたか?					

前回の改善計画	
前回の改善計画に対する取り組み結果	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?			8	1	9
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?		2	5	2	9
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?		1	6	2	9
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?		1	5	3	9

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
 事前の情報や本人から聞いた範囲で把握している。長期宿泊希望であっても可能な限り利用者が日中、自宅で過ごせる期間を設けられる様に家族に依頼している。通院の援助については可能な限り家族に依頼している。送迎時、家族に関わる際には自宅での生活について情報を聞く努力をしています。特定の地域については利用者に関っている民生委員や近隣住民(協力者)について把握している。特定の地域のサロン等については把握し、参加出来るように援助を行っている。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
 全ての利用者が居住する区域の民生委員や社会資源は殆ど把握出来ていない。今まで本人や家族に聞き取りを行う等、知ろうとする努力に欠けていた。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)
 アセスメント項目に、新たに居住区の民生委員、親しい地域住民、地域行事等の有無を記入する欄を設ける。送迎、訪問援助時等に近所の方との情報を得る。知り得た情報を基に情報提供、情報収集、見守り、援助等の協力援助体制の構築に努めます。